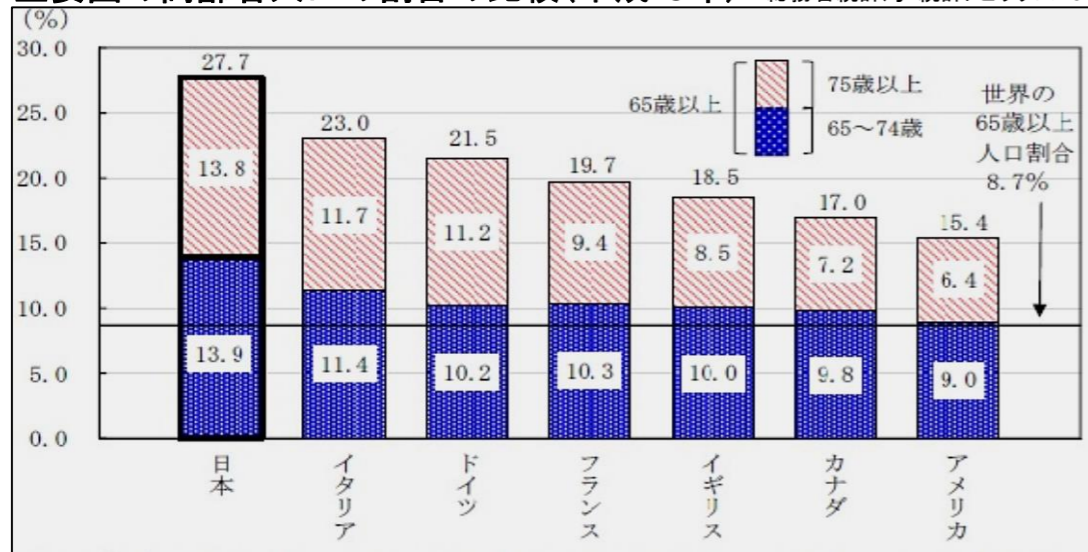


## 長寿大国日本 ~90歳以上~ 初の200万人超え

「90歳以上の高齢者が初めて200万人を超えた」。敬老の日になんで総務省データが公開されました。9月17日に公表された統計によると、同月15日の時点で65歳以上の高齢者の人口は前年より57万人多い3514万人。高齢化率は27.7%(前年27.2%)まで上昇し、ともに過去最高となりました。

- ・総人口が21万人減少する一方、高齢者は57万人増加
- ・総人口に占める高齢者人口の割合は27.7%と、過去最高
- ・日本の高齢者人口の割合は、世界で最高

主要国の高齢者人口の割合の比較(平成29年) 総務省統計局:統計トピックスNo.103より



資料:日本は「人口推計」、他国は World Population Prospects: The 2017 Revision (United Nations)  
注)日本は9月15日現在、他国は7月1日現在

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、高齢者の人口がピークを迎えるのは3935万人となる2042年とみられています。高齢化率上昇はその後も続き、2065年には38.4%、約2.6人に1人が65歳以上という社会になると予測されています。

## 訪問入浴介護の啓蒙を!! デベログループの取組

デベログループでは訪問入浴介護の普及・啓蒙活動の一環として、各地で入浴ケアの講演やデモンストレーションを実施しております。特に8月・9月はイベント、学会、地域の勉強会などの催しが多く、医療・介護に従事される方はもちろんのこと、介護者や地域の方々へと訪問入浴の魅力や役割をご説明させていただきました。

### ~安全入浴の推奨のため~

いつまでもお元気で入浴を楽しんでいただくために、入浴の基礎知識を解説いたしました。高温浴を避けたなかでの温熱作用による効果や、静水圧により心肺への負荷を避けるための半身浴、急激な血圧の上昇を抑える入浴法など、ケアに役立つ知識を学んでいただきました。



皆様の地域におかれましても、様々な催しがあるかと存じます。是非、訪問入浴介護の「浴槽」を会場に運び込んで、積極的にPRされてみてはいかがでしょうか。

## 解説!!訪問入浴 — 訪問入浴の付帯的サービスについて —

サービス提供時には、入浴介助に伴って様々な付帯的なサービスが行われており、ご利用者の身の回りの支援が効果的に実施されています。今回はその付帯的なサービスの一例をご紹介します。

### 生活支援の側面 寝具等のベッド環境の整備

離床する際に、シーツ、枕カバーなどの交換が行えます。不衛生になりがちなベッド周りも清掃をして、環境を整えることができます。



### 身体介護の側面 むくみや拘縮・リハビリ要素も

入浴中は温浴作用、浮力・粘性作用により関節も動きやすくなりますので状況によりマッサージなどを行う場合もあります。

### 臥床姿勢へのアドバイス

寝たきりである利用者への、清潔な下着や着衣の交換はもちろんのこと、「スキンケア」や「体位の変換」といったご家族への適切なアドバイスも。

### 看護的なケア

当日のバイタル確認はもちろんのこと、訪問看護等とも連携し、ご利用者の体調チェックを行うことで、切れ目のない見守りを心掛けます。



### 全身観察

看護師を中心とした3人での観察により、身体状況はもちろんのこと、ご利用者の身の回りの環境状態の様子などを、きめ細やかにチェックできます。

### ワンポイント!

糖尿病の方で気を付けたいのはケガや傷の発生です。入浴中に全身観察が可能な訪問入浴介護では、ここでも早期発見や経過の観察などに期待ができます。



### 全身の整容と向き合う

入浴で清潔の保持はもちろんですが、洗顔、ひげそり(電気シェーバーにて)や爪切り(疾患の無い爪)など、全身の整容を考えてサービスが実施されます。

※付帯サービスの例となりますので、事業所により内容は異なります。

## 古今東西 その2 銭湯の富士山

お風呂にまつわるちょっとした小話「お風呂古今東西」は、お風呂infoにて連載中。http://o-fu-ro.info/

銭湯といえば、富士山です。富士山のペンキ絵のルーツは、大正元年に東京にあった「キカイ湯」という銭湯。創業者が銭湯を増築をする際、壁に絵が書いてあったら子どもが喜ぶに違いない、とペンキ絵を描くことを考えついたそうです。

そこで当時、広告デザインなどを手がけていた油絵画家の川越広四郎氏に依頼。彼が描いたのが、富士山だったそうです。

「富士山風呂」の評判はまたたく間に広まり、いつの間にか銭湯の代名詞となりました。ちなみに現在、銭湯に富士山を描くペンキ絵師は日本で3名しか残っていないとのこと。

世界遺産にも登録された富士山、是非ともこの伝統を受け継いでもらいたいものです。



訪問入浴介護のお申込み・お問い合わせは